監査公表第9号

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づき次のとおり監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を公表する。

令和7年7月1日

新城市監査委員 夏目道弘
新城市監査委員 中西宏彰
(公 印 省 略)

第1 監査種別
定例監査・行政監査

第2 監査の対象
議会事務局
議事調査課

第3 監査に当たった監査委員
夏目道弘
中西宏彰

第4 監査の期間
令和7年5月1日～令和7年6月30日

第5 監査の方法
令和7年度の監査実施計画に基づき、上記部局に係る令和6年度に実施された事務事業について、あらかじめ提出された監査資料をもとに法令、計数は勿論、事業の有効性、効率性、経済性、重点施策実施状況等に留意して聴取を行った。

第6 監査の結果
事務処理及び事業の執行については、概ね適正に処理されていると認められた。なお、軽易な事項についてはそれぞれ監査の過程において触れたところであるが、以下の項目を意見として発表する。
監査結果に対する是正措置や検討状況等については、この報告の受領日から概ね3か月を目処に通知されたい。

議会事務局

【議事調査課】

意見

- 1 政務活動費については、利用しやすいように運用指針の見直しをされたが、その意義が議員に十分理解されていないように思われる。議員活動の活性化を図るために十分利用されるような働きかけを行われたい。
- 2 議事録については、作成の遅れが住民監査請求で指摘され、その後は適切な対応がなされているが、最近の会議時間の増加が大きな事務負担となっているとのことである。議会事務局として何らかの改善策がとれないか検討されたい。
- 3 議会報告会については、参加者が一部の市民に固定化してきている。市民が市政について議員と意見交換し、市民の声を市政に反映させていくことが大切であるので、できるだけ多くの市民が参加していただけるように取り組まれたい。